

行事案内	月 日	行 事 名	場 所	掲載ページ
本 部	2月16日(金) ~17日(土)	第17回水理講演会	東 京	1月号本文143ページ
	2月21日(水) ~22日(木)			
	3月10日(土)	第8回岩盤力学に関するシンポジウム	土 木 学 会	1月号本文140 "
	5月12日(土)	映 画 会	同	本号本文119 "
	5月29日(火)	海洋開発シンポジウム 第59回通常総会	同 東 京	1月号本文141 " 本号本文118 "
北海道支部	2月15日(木) ~16日(金)	年次研究発表会	札 幌 市	1月号本文147 "
東 北 支 部	2月23日(金)	技術研究発表会	仙 台 市	本号本文119 "
	6月1日(金)	東北支部総会	同	本号本文119 "
関 東 支 部	2月23日(金)	講 習 会	土 木 学 会	1月号 150 "
	3月16日(金)	見 学 会	関 東 地 区	本号本文120 "
中 部 支 部	2月15日(木)	第3回見学会	名 古 屋 市	本号本文120 "
関 西 支 部	2月20日(火)	構造物・施設の調査に関する研究会	大 阪 市	1月号本文154 "
	3月15日(木) ~16日(金)			
	3月19日(月) ~20日(火)	構造工学講習会	同	本号本文120 "
	6月1日(金)	講 習 会 年次学術講演会	同 同	本号本文121 " 1月号本文155 "
中国四国支部	5月24日(木) ~25日(金)	支部総会、年次学術講演会	松 江 市	本号本文122 "
西 部 支 部	2月25日(日)	支部総会 研究発表会	福 岡 市	本号本文123 " 本号本文123 "
	2月25日(日)			
そ の 他	2月15日(木) ~16日(金)	第11回原子力総合シンポジウム	東 京	1月号本文144 "
	2月16日(金)			
	2月17日(土)			
	4月4日(水)	第18回材料強度と破壊国内総合シンポジウム	同	1月号本文146 "
	4月17日(火) ~18日(水)			
	第10回理工学における同位元素発表会			
お 知 ら せ	■土木学会昭和48年度全国大会・第28回年次学術講演会実施要領			本号綴込 1 "
	■土木学会名簿発行経費の一部負担ご協力をお願い			本号綴込 2 "
	■土木学会出版図書の価格改訂について			本号綴込 3 "
	■評議員選挙告示			本号本文118 "
	■理事ならびに監事選挙告示			本号本文118 "
■関東地震50周年記念地震工学シンポジウムの開催と発表論文の募集			本号本文118 "	

支 部 所 在 地

北海道支部：郵便番号 060・札幌市中央区南1条西2丁目・長銀ビル5階	(電 011-251-7038)
東北支部：郵便番号 980・仙台市二日町 18-25・丸七ビル3階	(電 0222-22-8509)
関東支部：郵便番号 160・東京都新宿区四谷1丁目・土木学会総務課内	(電 03-351-4133)
中部支部：郵便番号 450・名古屋市中村区笹島町1丁目232番地 近畿日本鉄道(株) 鉄道総局名古屋営業局施設部庶務課内	(電 052-582-3311・内線 251)
関西支部：郵便番号 541・大阪市東区船場中央2丁目2番地・船場センタービル4号館409号	(電 06-271-6686)
中国四国支部：郵便番号 730・広島市基町 10番3号・自治会館内	(電 0822-21-2666)
西部支部：郵便番号 810・福岡市中央区薬院2丁目14番21号	(電 092-78-3716)

第 59 回通常総会のお知らせ <於東京>

▶ 5 月 29 日 (火) ◀

昭和 48 年度通常総会は、下記のとおり東京において開催致しますのでお知らせします。

1. 日 時：昭和 48 年 5 月 29 日 (火) 13.30~18.00
2. 場 所：農協ホール (千代田区大手町 1-8-3 農協ビル 9 階)
(地下鉄丸の内線大手町駅淡路町寄り改札口より農協ビル地下 1 階に直結しております)
3. 総 会：13.00~15.00
 事業報告
 決算報告
 名誉会員の推挙
 土木学会賞の授与
 新役員の紹介
4. 特別講演：15.00~16.00 国土開発の方向について 建設省事務次官 坂野重信
5. 懇親会：16.15~18.00 農協ビル 8 階第 2 大会議室

評議員選挙告示

昭和 48 年評議員選挙を各支部ごとに 4 月末日までに執行いたします。各支部の評議員定数は、48 年 1 月 31 日現在における各支部所属会員数 (土木学会規則第 18 条) に比例、按分した結果下記のとおりです。

支 部 名	北海道	東 北	関 東	中 部	関 西	中国四国	西 部	合 計
評 議 員 数	5	6	43	11	21	7	7	100

理事ならびに監事選挙告示

昭和 48 年理事ならびに監事選挙を 48 年 4 月末日までに執行いたします。

関東地震 50 周年記念地震工学シンポジウムの開催と発表論文の募集

本年は関東地震の 50 周年にあたりますので、50 周年を記念すると同時に地震工学の今後の発展に資すべく記念シンポジウムを催すことになりました。今回のシンポジウムは従来の国内シンポジウムと変り、現在地震工学の新しいテーマのうち 3 つを選び、これに関する論文発表と、地震工学の過去からの発展と将来の展望についての二、三の特別講演で企画してみました。

今回のシンポジウムの開催に当って、海外研究者の有志にも参加できるように国内と同時に国外にも開催、論文募集の発表を致し、研究情報交換の場とすると同時に 50 周年記念シンポジウムを有意義なものにしたいと考えました。会員各位には下記規定をご参照のうえ、ふるってご応募下さい。

主 催：地震学会・土質工学会・土木学会・日本建築学会

(1) 開催予告

1. 日 時：1973 年 8 月 31 日 (金)、9 月 1 日 (土)
2. 場 所：東京 (決定次第お知らせします)

3. シンポジウムの内容：論文発表，特別講演
- (2) 発表論文の募集
1. 発表論文の内容：次のいずれかのうち，最近の研究に属するもので，なるべく総合的な研究が望ましい。
 - a) 構造材料および部材の動的挙動
 - b) 土と構造物の相互作用
 - c) 有限要素法と地震工学への応用
 2. 応募の方法：
 - a. 論文提出希望者は，1973年4月30日までに，所属学会，氏名（ローマ字付記），勤務先（英文付記），職名，連絡先を明記のうえ邦文約800字または英文約400語の内容梗概を，今回の幹事学会である下記へ提出する。
土木学会：東京都新宿区四谷1丁目（〒160）
 - b. 論文の応募は，共著のものを含み，1名につき1編以内を原則とする。共著の場合は発表者を明記すること。
 - c. 発表論文の採否は，応募全論文数，発表時間等をも勘案してシンポジウム運営委員会が決定し，すみやかに応募者に通知する。
 - d. 採択された論文の著者は，1973年6月末日までに，論文の原稿に投稿料1編につき3000円を添えて，当学会または幹事学会に提出する。
 - e. 論文原稿の体裁は，採否の通知と同時に採択された論文の著者に連絡するが，用語は日本語または英語とし，日本語の場合は10000字程度，英語の場合は4000語程度以内に収まるよう，所定の用紙にタイプ印字する形式となる予定である。プロシーディングスはこの原稿をオフセット印刷して，シンポジウム開催時に配布する。

映画会開催について

▶ 3月10日（土）◀

第5回映画コンクール審査等により一時中断しておりました映画会を再開致しましたので，おさそい合せのうへ，ご観賞下さいませようご案内致します。

1. 場 所：土木学会土木図書館講堂（東京都新宿区四谷1丁目 国電・地下鉄四ツ谷駅下車）
2. 日 時：毎月第2土曜日 14.00～ 3月は10日（土）です。
3. 上映作品：今月は下記作品を上映致します。

「アスファルト舗装」	}	日本舗道（株）	提供
「グースアスファルト」		小石川工業高校	

その他現在，交渉中です。ご期待下さい。
4. 参加費：無料 土木関係以外の方も歓迎致します。
本映画会に関する問合せは，土木学会視聴覚教育委員会宛にお願い致します。
共 催：土木学会関東支部

東北支部行事案内 （郵便番号 980 仙台市二日町 18-25・丸七ビル 3階） 電 0222-22-8509

(1) 技術研究発表会

▶ 2月23日（金）◀

1. 日 時：1973年2月23日（金）9.30～17.00
2. 場 所：宮城県民会館3階および6階（仙台市国分町 3-3-7）
第1会場（6階第3会議室），第2会場（6階第4会議室），第3会場（3階中ホール）
3. 発表論文数：76編
4. 聴 講：無料（ただし，聴講者の便宜をはかり，希望者には当日会場において，講演概要集を実費頒布いたします）。

(2) 昭和48年度東北支部総会

▶ 6月1日（火）◀

1. 日 時：1973年6月1日（金）16.30～

2. 場 所：セントラルホテル8階（仙台市青葉通）
3. 議 題：① 昭和47年度事業報告および決算報告
② 昭和48年度事業計画および予算の報告
③ 役員改選の報告
④ その他
4. 映 画：題 未定

◎ この会告をもって総会開催の通知といたします。なお総会后 18.30 より懇親会を催します（会費 1000 円）。準備の都合がありますから、総会ならびに懇親会に参加の方は5月29日までにお知らせ下さい。

関東支部行事案内（郵便番号 160 東京都新宿区四谷1丁目 土木学会内）
電話 03-351-4133

「武蔵野線」試乗と見学会

▶ 3月16日（金）◀

本年4月より営業を開始する、武蔵野線の操作場その他見学と試乗を下記により実施いたします。多数ご参加下さるよう、ご案内いたします。

1. 日 時：1973年3月16日（金）13.00～16.30（予定）
2. 集合場所：京浜東北線西浦和駅か常盤線馬橋駅（予定）
3. 参加費：無料（定員50名）
4. 申込方法：希望者は、はがきに氏名、勤務先、連絡先（電話番号も）を明記して、関東支部宛お申し込み下さい。

なお、日時、集散場所は決定次第、ご連絡いたします。

中部支部行事案内（郵便番号 450 名古屋市中村区笹島町1-232 近畿日本鉄道（株）鉄道総局）
名古屋営業局施設部庶務課内 電 052-582-3311 内線 251

昭和47年度第3回見学会

▶ 2月15日（木）◀

1. 日 時：1973年2月15日（木）9.00
2. 集合場所：名古屋テレビ塔北観光バス発着場
3. 見学先：○馬飼頭首工（水資源開発公団）
○東名阪道路（日本道路公団）
○西名古屋火力発電所（中部電力株式会社）
4. 行 程：（9.10）テレビ塔下出発（バス）→（10.10）木曾川総合用水第一建設所馬飼出張所着：馬飼頭首工概況説明、工事現場見学 →（11.50）東名阪道路工事事務所着：概況説明、長島工事現場見学 → 昼食（車中）→（13.40）西名古屋火力建設所着：概況説明、発電所見学 →（16.00）テレビ塔下着（解散）
5. 会 費：300円
6. 定 員：100名
7. 申 込 先：土木学会中部支部へ会費を添え2月13日（火）までにお申込みください。

（注）納入後の会費の払い戻しはいたしませんのでご了承願います。

関西支部行事案内（郵便番号 541 大阪市東区船場中央2丁目2番地 船場センタービル4号館）
409号 電 06-271-6686 番 振替口座大阪 82599 番

（1）構造工学講習会——長大橋梁の諸問題——

▶ 3月15日（木）～16日（金）◀

1. 日 時：1973年3月15日（木）、16日（金）9.10～17.30
2. 会 場：大阪科学技術センター 8階大ホール 電話大阪（06）443-5321 番
大阪市西区靱1丁目118番地（地下鉄四ツ橋線本町下車北へ150m 靱公園北東角）
3. 題目と講師：

第1日（3月15日）

9.10～9.20 開 会 換 拶

土木学会関西支部長 柳瀬珠郎

- | | | | |
|-------------|----------------|--------------------|------|
| 9.20~10.40 | ① 長大橋梁の現状と問題点 | 京都大学教授工学部 工博 | 小西一郎 |
| 10.50~12.10 | ② 上部構造の強度 | 大阪大学教授工学部 工博 | 小松定夫 |
| 13.00~14.20 | ③ 材料・継手の問題 | 神戸大学教授工学部 工博 | 西村 昭 |
| 14.30~15.50 | ④ 長大併用橋の設計上の問題 | 本州四国連絡橋団設計第1部次長 工博 | 田島二郎 |
| 16.00~17.20 | ⑤ 上部構造の耐風設計 | 京都大学助教授工学部 工博 | 白石成人 |

第2日(3月16日)

- | | | | |
|-------------|-------------|---------------------------|------|
| 9.20~10.40 | ⑥ 上部構造の製作 | 阪神高速道路公団南港連絡橋建設部長 | 菅戸松二 |
| 10.50~12.10 | ⑦ 上部構造の架設 | 日本道路公団高速道路関門建設所関門架橋工事事務所長 | 大橋陽光 |
| 13.00~14.20 | ⑧ 下部構造の設計 | 本州四国連絡橋団設計第2部設計第3課長 工博 | 吉田 巖 |
| 14.30~15.50 | ⑨ 下部構造の耐震設計 | 京都大学教授工学部 工博 | 後藤尚男 |
| 16.00~17.20 | ⑩ 下部構造の施工 | 本州四国連絡橋公団神戸調査事務所長 | 相良正次 |
| 17.20~17.30 | 閉会挨拶 | 土木学会関西支部幹事長 | 後藤尚男 |

4. 定 員：300名(先着順)
5. 参 加 費：会員 3800円(テキスト代を含む)
 ただし講習会当日は 5700円となりますので期限内に前納してください。
 非会員 5700円(テキスト代を含む)
6. 申込期限：1973年2月28日(水)
7. 申込方法：参加希望者は勤務先・連絡先・氏名・会員種別を明記(様式随意)し、参加費を添えて土木学会関西支部へお申し込みください。
 参加者には参加証をお送りしますから両日とも必ずご持参ください。
 (注)都合により講師の順序に変更があるかもしれませんのでご了承ください。

(2) 「地質学と土質工学の境界領域の問題点」講習会 ▶3月19日(月)~20日(火)◀
 ——建設技術者が考慮すべき地質学——

- 主 催：土質工学会関西支部
 協 賛：土木学会関西支部ほか4学協会
1. 日 時：1973年3月19日(月), 20日(火) 9.00~16.10
2. 会 場：大阪科学技術センター 8階大ホール 電話大阪(06)443-5321 番
 大阪市西区靱1丁目118番地(地下鉄四ツ橋線本町下車北へ150m 靱公園北東角)

3. 題目と講師：

第1日(3月19日)

- | | | | |
|-------------|----------------------------|--------|---------|
| 9.10~10.40 | ① 地盤とその区分(地域計画への地質学的アプローチ) | 大阪大学 | 中世古幸次郎 |
| 10.40~12.10 | ② 近畿地方における活断層 | 大阪市立大学 | 藤田 和 夫 |
| 13.10~14.40 | ③ 土質工学的見地より見た大阪層群の微構造 | 大阪市立大学 | 竹 中 準之介 |
| 14.40~16.10 | ④ 近畿地方の地震 | 京都大学 | 吉 川 宗 治 |

第2日(3月20日)

- | | | | |
|-------------|-------------------------------|-----------|---------|
| 9.00~10.30 | ⑤ 土の岩の工学と地質構造特性 | 京都大学 | 赤 井 浩 一 |
| 10.30~12.00 | ⑥ 岩石の風化と風化残積土の工学的性質 | 関西大学 | 西 田 一 彦 |
| 13.00~14.30 | ⑦ 地盤の災害と防災 | 神戸大学 | 田 中 茂 |
| 14.30~16.00 | ⑧ 瀬戸内海の高底地質と調査(本四連絡架橋調査を例にして) | 本州四国連絡橋公団 | 宮 島 圭 司 |

4. 定 員：300名(先着順)
5. 参 加 費：主催・協賛団体 会 員 4000円(テキスト代含む)
 講習会当日および非会員 5,000円(")
6. 申込期限：1973年2月28日(水)
7. 申込方法：参加希望者は勤務先・連絡先・氏名・会員種別(所属学協会)を明記(様式随意)のうえ参加費を添えて下記へお申し込みください。
 申 込 先 土質工学会関西支部
 (郵便番号 541) 大阪市東区船場中央 2-2 船場センタービル4号館 409号(4階)
 電話番号 大阪(06)271-6485 振替口座大阪 33383 番

(付) テキスト頒布

- 「掘削・土留工事の基礎的な問題」講習会資料 頒価 600円 送料 135円(残部僅少)
 (地盤調査, 薬液注入工法, 土留工法, 地下水低下工法の4点1組)
- 水工学におけるランダム事象と最適化に関する諸問題 " 1800円 " 130円
 騒音・振動公害——測定と評価の問題点とその動向—— " 1500円 " 130円

都市廃棄物の処理と処分	頒価 1000 円 送料 100 円
土木工事における土中水の扱い方	〃 1800 円 〃 130 円
工程管理 (演習問題解答付)	〃 1800 円 〃 160 円 (残部僅少)
シールド工法研究会資料 (地下鉄シールドの問題点 シールド工事施工上の問題点の2点1組)	〃 200 円 〃 90 円
公害振動測定法 (案)	〃 無 料 〃 60 円
昭和 47 年度関西支部年次学術講演概要	{ 正 会 員 〃 500 円 〃 160 円 (残部僅少)
	{ 学 生 会 員 〃 300 円 〃 160 円
	{ 非 会 員 〃 800 円 〃 160 円
昭和 46 年度関西支部年次学術講演概要	{ 正 会 員 〃 200 円 〃 160 円 (残部僅少)
	{ 学 生 会 員 〃 100 円 〃 160 円
	{ 非 会 員 〃 700 円 〃 160 円
工事の安全対策	〃 600 円 〃 130 円
近畿開発と大型土木プロジェクト	〃 350 円 〃 100 円
写真測量とその応用	〃 700 円 〃 130 円

上記テキストご希望の方は頒価に送料を添えて土木学会関西支部へお申し込みください。

中国四国支部行事案内 (郵便番号 730 広島市基町 10 番 3 号 自治会館内) 電話 0822-21-2666

(1) 昭和 48 年度中国四国支部総会, 特別講演会, 第 25 回学術講演会

1. 日 時: 1973 年 5 月 24 日 (木) 9.00~12.00 } 学術講演会
 5 月 25 日 (金) 9.00~12.00 }
 5 月 24 日 (木) 13.00~13.30 支部総会
 5 月 24 日 (木) 13.30~17.00 特別講演会
2. 会 場: 島根県民会館 松江市殿町 163 (電 (0852) 22-5522)
3. 参 加 費: 無料
4. 特別講演会・学術講演会プログラムは 4 月号に掲載予定
5. 宿泊施設: 島根県のご好意により, 会場から徒歩 10 分以内のところにある宿泊施設を, ご紹介いただきました。観光シーズンで満員となるおそれがありますので, 早目に申し込んでください。
 - 申込方法: 電話または往復はがきで希望宿泊施設名 (第 2 希望まで), 申込人員, 宿泊日数, 連絡先を明記のうえ 3 月 10 日までに申し込んでください (支部ではお取次いたしません)。
 - 申 込 先: 松江市殿町 1 番地 島根県土木部計画課 北川 勝様宛 電話 (0852) 22-5210
 - そ の 他: 期限 (3 月 10 日) 以降は, 各自が直接各宿泊施設に照会してください。この場合予約料金 500 円が, 必要になります。

施設名	所在地	定員	宿 泊 料	電 話
湖 東 会 館	灘 町 1-3	38 名	1800 円 程度	(0852) 21-6763
婦 人 会 館	中原町 19	40 名	1700 円 程度	(0852) 23-8181
白 鳥 会 館	千鳥町 20	120 名	2500 円 程度	(0852) 21-6195
むらくも会館	殿 町 369	100 名	2500~3000 円	(0852) 21-2670

(宿泊料は 1 泊 2 食付の料金です)

(2) 見 学 会

▶ 5 月 25 日 (金) ◀

1. 日 時: 1973 年 5 月 25 日 (金) 学術講演終了後 13.00~17.00
2. 見 学 先: 中国電力 (株) 島根原子力発電所および出雲大社
3. 申 込: 日程・参加費・申込方法等くわしくは, 3 月号でお知らせします。

西部支部行事案内 (郵便番号 810 福岡市中央区薬院 2 丁目 14 番 21 号)
電話 092-78-3716

昭和 47 年度研究発表会および支部総会

▶ 2 月 25 日 (日) ◀

1. 日 時: 1973 年 2 月 25 日 (日) 9.00 から
2. 会 場: 九州大学工学部防音教室 (福岡市東区箱崎町)
3. 参 加 料: 無料 論文集代 1500 円 (当日払)

第 1 会場 (第 1 部門) 102 教室

- | | |
|---------------------------------------|-----------------------------------|
| ① 9.15 ケーソン基礎の応答特性に関する実験的研究 | 九大 小坪・鶴田・武田純男・佐大 荒牧・
九工大 高西・坪根 |
| ② 9.30 多柱基礎構造の振動特性に関する実験的研究 | 九大 小坪・弘塾 剛・園田・
九工大 坪根・長尾・佐大 荒牧 |
| ③ 9.45 Feed-back 理論による剛基礎—地盤系の地震応答計算法 | 九大 小坪・九工大 ○高西照彦 |
| ④ 10.00 地中構造物の復元力に関する研究 | 九大 小坪・鶴田 幸 |
| ⑤ 10.15 沈理トンネルの耐震性に関する実験 | 九大 小坪・川崎重工 ○村山隆之 |
| ⑥ 10.30 水中トンネルの振動特性について | 熊大 ○秋吉 卓・野中・吉用 |
| ⑦ 10.45 FEM による地中基礎の調和解析 | 熊大 秋吉・河津・○古川和義 |
| ⑧ 11.00 長大スパントラス橋の振動性状について | 九大 小坪・鳥野・○姉川英明 |
| ⑨ 11.15 無梁板構造の振動解析 | 長崎大 高橋・○坂東啓一郎・小嶺・九大 樽木 |
- 11.30 (支部総会会場とする 開会 11.50)
- | | |
|-------------------------------------|-----------------------|
| ⑩ 13.00 円板の非線形自由振動 | 長崎大 ○高橋和雄・九大 樽木 |
| ⑪ 13.15 H 型断面吊材の風による振動の観測と風洞実験 | 熊大 吉村・○水田洋司・藤田・九大 吉村 |
| ⑫ 13.30 矩形および H 型断面材の 3 分力特性 | 九大 中村・○溝田武人・吉村 |
| ⑬ 13.45 H 型断面材の振りフラッタ | 九大 中村・○吉村 健 |
| ⑭ 14.00 覆工の終局耐力に対する地盤反力の影響 | 九大 樽木・○宮崎 修 |
| ⑮ 14.15 還元法による多層地盤中のくいの解析 | 九大 彦坂・○大沼明彦・日本技術開発 佐竹 |
| ⑯ 14.30 変数差分法による多主桁合成斜橋の解析 | 九大 彦坂・○内容 保 |
| ⑰ 14.45 骨組構造の相似則とその応用 (第 2 報) | 熊大 三池・○島村直幸 |
| ⑱ 15.00 任意形孔を有する帯板の純せん断 | 九大 後藤恵之輔 |
| ⑲ 15.15 中間支点を有するく形板の弾塑性安定 | 九大 樽木・○崎本純治 |
| ⑳ 15.30 曲げと振りの組合せ負荷を受ける鋼管の弾塑性挙動について | 宮大 太田・○中沢隆雄・右近 |
| ㉑ 15.45 鋼管の弾塑性振り挙動に関する考察 | 宮大 太田・中沢・○大津留哲夫・西元 |
| ㉒ 16.00 2 ヒンジアーチ橋の弾塑性応答解析 | 宮大 太田・○右近大進・竹内 |
| ㉓ 16.15 トラス部材の最適設計 | 長崎大 小西・○高橋和博 |
| ㉔ 16.30 製作を考慮した I 型梁の最適設計について | 長崎大 小西保則 |
| ㉕ 16.45 合成桁の最適設計 | 長崎大 小西・○林 宇一 |

第 2 会場 (第 2 部門) 103 教室

- | | |
|--|-------------------|
| ① 9.15 土石流に関する研究 (第 4 報) | 九大 椿・平野・○内村 好 |
| ② 9.30 天草地区の土石流について | 九大 内村・○川延正敏・副島 |
| ③ 9.45 開水路における乱れの分布について | 九大 小松・○古屋慶一・古賀 |
| ④ 10.00 移動床における河床性状と粗度流砂量について | 九大 椿・○正木清明・佐大 渡辺 |
| ⑤ 10.15 河床波の近傍における砂粒の挙動について | 佐大 ○渡辺訓南・九大 藤田・柴田 |
| ⑥ 10.30 振幅を伴う流路変動 (第 2 報) | 九大 平野宗夫 |
| ⑦ 10.45 昭和 47 年 6 月並びに 7 月の福岡県における豪雨災害について | 九大 篠原・池田・○岡 弘幸 |
| ⑧ 11.00 山地小流域の出水特性に関する研究 (2) | 九大 篠原・○小川 滋 |
| ⑨ 11.15 筑後川および川内川流域における時間雨量と継続雨量との関係 | 九大 篠原・○池田 茂・樋口 |
| ⑩ 11.30 筑後川の流域、流出解析 | 九大 椿・○竹石和夫 |
- 11.45 (102 号室 支部総会へ)
- | | |
|----------------------------------|---------------------|
| ⑪ 13.00 せきによる河床の洗掘について | 九大 ○渡辺正和・鴻池組 秋竹 |
| ⑫ 13.15 吸込口周辺における水理について | 熊大 榎本・○坂田康徳・藤村 |
| ⑬ 13.30 密度噴流における連行現象について (第 2 報) | 九大 椿・小松利光・井沢 |
| ⑭ 13.45 小河川における塩分濃上について | 長崎大 松原・古本・○武政剛弘 |
| ⑮ 14.00 複式サージタンクの安定理論 | 九電 村瀬次男 |
| ⑯ 14.15 貯水池における内部静振の実験結果 | 長崎大 松原・○古本勝弘・武政 |
| ⑰ 14.30 リーフによる波の変形理論 | 筑大 河野二夫 |
| ⑱ 14.45 直立多層消波防波堤と護岸について | 九大 井島・奥園・湯村・○山田裕二 |
| ⑲ 15.00 掃流漂砂による水底変動について | 九大 井島・田淵・○田之上隆生・海江田 |
| ㉑ 15.15 透水層上の波の減衰について | 九大 井島・○田淵幹修・坂井・山口 |
| ㉒ 15.30 透過性消波堤の効果について | 九大 井島・田淵・湯村・○山口 修 |
| ㉓ 15.45 浅海波による円柱状浮体の運動 | 九大 井島・田淵・湯村・○吉田明徳 |
| ㉔ 16.00 浮防波堤の反射効果について | 九大 井島・田淵・吉田・○神鷹 昇 |
| ㉕ 16.15 玄海灘海岸の海浜形状について | 九大 井島・○奥園英明・田之上 |

第 3 会場 (第 2 部門) 203 教室

- ① 9.15 固液系流動層内における流体と粒子の混合拡散 九大 粟谷・楠田・○福留和明
 - ② 9.30 固液系流動層における濁質除去機構 (II) 九大 粟谷・楠田・○古賀憲一
 - ③ 9.45 フロックのせん断破壊強度について 九大 粟谷・楠田・○口石 巧
 - ④ 10.00 フロック形成の数値解析について 九大 粟谷・楠田・○江副章之介
 - ⑤ 10.15 乱流中におけるフロックの成長と破壊の平衡について 九大 粟谷・楠田・江副・○宮原 茂
 - ⑥ 10.30 表面付近における乱れの特性と表面曝気速度について (IV) 九大 粟谷・楠田・○敷田和久
 - ⑦ 10.45 一様に流入する沈澱池における密度流の発生機構 九大 粟谷・○金子 新
 - ⑧ 11.00 一様水平流中における気泡噴流の挙動 九大 粟谷・北野・○中尾正和
 - ⑨ 11.15 水処理における固形物の挙動 宮大 渡辺義公
 - ⑩ 11.30 回転円板法による下水高度処理について 宮大 石黒・渡辺・田中・○友森松雄
- 11.45 (102 号室 支部総会へ)
- ⑪ 13.00 回転円板法による食品工場廃水処理について 宮大 石黒・渡辺・○田中春夫・友森 宮大 石黒政儀
 - ⑫ 13.15 回転円板汚水処理法の諸特性 宮大 石黒・渡辺・大島・○新川信夫・谷中 宮大 石黒・○木川良二・田部・山口
 - ⑬ 13.30 大淀川流域下水道計画に関する研究 宮大 石黒・渡辺・石黒・○東 康雄
 - ⑭ 13.45 下水道雨水流出量算定法に関する研究 (第 6 報) 宮大 上田・○杉尾 哲・塚本・浅野
 - ⑮ 14.00 活性汚泥の除去特性に及ぼす上水汚泥の影響 九大 上田・○神野健二・和泉・森下
 - ⑯ 14.15 重力井戸揚水量の数値解析 九大 上田・○神野健二・和泉・森下
 - ⑰ 14.30 分散方程式による地下密度流の数値計算について 九大 上田・○神野健二・和泉・森下

第 4 会場 (第 3 部門) 101 教室

- ① 9.15 CVT 試験による土の変形係数について 九大 山内・○巻内勝彦・松川
 - ② 9.30 セメント系安定処理についての基礎的実験について 福大 吉田・○村上初夫
 - ③ 9.45 ロック材料の透水試験について 九電 赤司・○中島隆士・西日本技開発 中尾
 - ④ 10.00 乱したシラスの振動時における透水性と噴砂現象 宮大 藤本・田村・○利重 誠・藤 九大 山内・○善 功企
 - ⑤ 10.15 超軟弱粘土の圧密に及ぼす塩濃度の影響 九大 山内・安原・○了成公利
 - ⑥ 10.30 軟弱な火山灰土の圧密特性について 九大 山内・○安原一哉
 - ⑦ 10.45 有機質土の静止土圧係数について 九大 山内・○河野久男・吉永 九大農 橋口公一
 - ⑧ 11.00 繰返し荷重による圧密の促進工法について (第 2 報) 九大 山内・○河野久男・吉永 九大農 橋口公一
 - ⑨ 11.15 土の硬化塑性力学 九大農 橋口公一
 - ⑩ 11.30 沖縄地方の細粒土の物理的性質について 琉大 ○砂川敬男・上原
- 11.45 (102 号教室 支部総会へ)
- ⑪ 13.00 カオリンと標準砂混合土の性質 九大 ○村田重之・内田・上原
 - ⑫ 13.15 火山灰土の最適含水比状態について 熊大 鈴木敦己
 - ⑬ 13.30 阿蘇火山灰土の間隙状態について 熊大 荒牧昭二郎
 - ⑭ 13.45 不飽和粒状体における間げき圧算定について 九大 山内・○大村啓一
 - ⑮ 14.00 砂防ダムにかかるシラスの土圧および間隙水圧について 鹿大農 ○春山元寿・永井・下川 鹿大農 下川悦郎
 - ⑯ 14.15 粘土の強さの時間依存性について 鹿大農 下川悦郎
 - ⑰ 14.30 不飽和土の変形特性 長崎大 伊勢田・落合・棚橋・黒岩・○宮崎集二
 - ⑱ 14.45 砂の変形特性 長崎大 ○落合英俊・棚橋・一の間・浦田
 - ⑲ 15.00 砂の応力—ヒズミ関係について 九産大 石堂・○関直三郎・野間口 福大 ○吉田信夫・陶山
 - ⑳ 15.15 粒状体の応力—歪曲線についての 2, 3 の考察 福大 ○吉田信夫・陶山
 - ㉑ 15.30 粒状土のせん断特性について 九産大 石堂・関・○山下康朗
 - ㉒ 15.45 砂の粒子間摩擦角と Rowe の最小エネルギー線の関係について 通産省工試 三浦哲彦
 - ㉓ 16.00 固結された粒体の力学的特性について 九大 ○村田秀一・山内
 - ㉔ 16.15 ロック材料の大型単純せん断試験について 九電 赤司・高田・西日本技開発 ○山下伸二

第 5 会場 (第 1, 第 4, 第 3 部門) 202 教室

- ① 9.15 基本系法によるビルツ橋の解法 九大 樗木・○八尋繁美
 - ② 9.30 伝達マトリックス法による円弧格子桁の解析 九工大 山本・○花倉芳広
 - ③ 9.45 平衡マトリックスを用いた骨組構造解析についての応用 熊大 三池・村上・○百崎 博
 - ④ 10.00 仮想外力を用いた一動的解析手法 熊大 ○平井一男・西山
 - ⑤ 10.15 代表点法による変断面梁の固有値計算法 九大 小坪・九工大 高西・○坪根康雄・井上
 - ⑥ 10.30 上路, 下路ランガー橋の面外固有振動および面外屈曲の一解析法 佐佐保重工 ○五反田進・熊大 吉村
 - ⑦ 10.45 上路式補剛アーチ橋におけるクラウンの水平拘束による水平反力などの挙動 熊大 吉村・○筒井光男・佐伯鶴城高 庄司 九工大 出光・○内海章光
 - ⑧ 11.00 PCT の有限変形法による解析 九工大 出光・○内海章光
 - ⑨ 11.15 路面の凹凸のスペクトル解析について 福大 吉田・○中野孝一
 - ⑩ 11.30 航空旅客数のスペクトル解析について (第 2 報) 福大 吉田・○富永末雄
- 11.45 (102 号教室 支部総会へ)
- ⑪ 13.00 カーフェリー輸送の変動についての検討 福大 吉田・○砂田正人
 - ⑫ 13.15 数量化理論による福岡空港旅客数の要因分析 (第 2 報) 福大 吉田・○陶山 明
 - ⑬ 13.30 住宅供給に関する基礎的研究 豊田工高専 ○大野俊夫・名古屋女大 大野
 - ⑭ 13.45 国道 220 号線を中心とした宮崎市周辺の休日交通特性 宮大 藤本・○中岡貴夫・宮崎県 野井・森山
 - ⑮ 14.00 大分港における船舶の到着隻数について 大分工大 竹光義信
 - ⑯ 14.15 農村コミュニティについて 九大 内田一郎
 - ⑰ 14.30 シラス模型盛土斜面の崩壊 宮大 ○藤本 広・荒牧

- ⑬ 14.45 斜面のすべり破壊に関する実験 長崎大 落合・棚橋・○伊東修平・井上
- ⑭ 15.00 すべり面方向を考慮した斜面の有限要素解析 長崎大 伊勢田・○棚橋由彦・竹之下・和志武
- ⑮ 15.15 切土シラス斜面の崩壊について 九大 山内・福田・R.C. Neil
- ⑯ 15.30 盛土斜面の上部載荷による崩壊について 九大 ○平田登喜男・内田・海老原・酒井
- ⑰ 15.45 杭の周面抵抗に関する一考察 九大産大 石堂・○野間口明義・関
- ⑱ 16.00 杭支持力と試験条件の関係について 九大産大 石堂 稔

第6会場(第5部門)201教室

- ① 9.15 持続載荷によるコンクリートの強度特性の変化 九大 徳光・○江崎哲郎
- ② 9.30 疲労試験による疲労寿命Nの分布 九大 徳光・○松下博通
- ③ 9.45 繰返し載荷によるコンクリートの力学的性質(低サイクル疲労試験) 九大 松下・○近藤暢男
- ④ 10.00 変動荷重を受けるコンクリートのクリープ(外津橋アーチリブコンクリートの室内実験) 九大 徳光・松下・○山本正治・佐大 石川
- ⑤ 10.15 コンクリートの遅延弾性変形について 九大産大 宮川・○羅吉元
- ⑥ 10.30 人工軽量骨材コンクリートの乾燥硬化収縮 福大 大和・坂田・○中村光邦
- ⑦ 10.45 高温を受けたコンクリートの強度変化 福大 ○大和竹史・森岡
- ⑧ 11.00 コンクリートの凍結融解に関する実験的研究 福大 大和・井上・○安永正道
- ⑨ 11.15 レジンコンクリートに関する基礎的研究 九工大 渡辺・○高山俊一・新日本コンクリート 前原
- ⑩ 11.30 コンクリート用細骨材としての海砂の問題点 佐大 ○石川達夫・九大 松下・三菱セメント 葛城

○ 11.45 (102教室 支部総会へ)

- ⑪ 11.30 細骨材としてスラブを使用したコンクリートの2, 3の性質について(その1) 大分工大 三浦正昭
- ⑫ 13.15 骨材の製造過程における問題点 近畿大 ○小川康彦・松垣・大阪砕石 大西
- ⑬ 13.30 各種路盤材料の等価換算係数(第2報) 福大 吉田・百田政治
- ⑭ 13.45 各種アスファルト混合物についての2, 3の考察 福大 吉田・○富田実
- ⑮ 14.00 凝結遅延剤のレギコレッドセットセメントコンクリートに及ぼす影響 佐大 石川・九大 松下・高本英司
- ⑯ 14.15 コンクリートの水密性に関する実験 福大 大和・○高丘和人・高野
- ⑰ 14.30 霧島川流域のコンクリート構造物の浸食について(第2報) 鹿児島高専 榎渡・○斎藤利一郎
- ⑱ 14.45 セメントペーストプレート鉄筋の付着について 九工大 渡辺・出光・○十河茂章・奥村組 中村
- ⑲ 15.00 鉄筋コンクリート単純桁の破壊に関する理論的実験的考察 宮大 太田・久原・中沢・○山崎竹博・今井・山路
- ⑳ 15.15 Nathan の荷重分配法と考察 九工大 渡辺・○豊福俊英
- ㉑ 15.30 連続地中壁のコンクリートの品質について 九電 永島・野間口・尾石俊文・杉田・清岡・西日本技開発 土屋
- ㉒ 15.45 PCパイルのおじり貫入工法に関する基礎実験 九大産大 ○宮川邦彦・亀井
- ㉓ 16.00 コンシール工法によるヘドロ埋立地改良について 九工大 渡辺・出光・○岡林巧・三星商事 木下

TRANSACTIONS OF JAPAN SOCIETY OF CIVIL ENGINEERS

頒布について

土木学会では、わが国の土木技術・学術の研究内容を広く海外へ紹介する目的で標記の図書を年2回刊行しております。

本書には、土木学会論文報告集掲載論文の内容が図表を用いてわかりやすく記述されておりますので、海外との学術・技術交流の一環として広くご利用下さるようおすすめいたします。現在までに下記の5冊が刊行されておりますのでご案内致します。

Vol. 1, Part 1, Part 2 (1970年刊行)

Vol. 2, Part 1, Part 2 (1971年刊行)

Vol. 3, Part 1, Part 2 (1972年刊行)

体 裁：本文B5判8ポ2段組 110~200ページ

定 価：各冊とも1500円(送料140円)

申 込 先：160 東京都新宿区四谷1丁目 土木学会

土木学会投稿の手引き

●土木学会投稿の手引き特別小委員会・編集●

B5・40ページ 350円(〒70円)

1. はじめに
2. 土木学会誌・土木学会論文報告集投稿要項解説
3. 土木学会投稿原稿の書き方
4. 欧文論文のまとめ方
5. オフセット用原稿の書きかた, など. 付録つき